

学友会・教学部懇談会の公表

(文責：立命館大学学友会中央常任委員会)

立命館大学教学部（以下、教学部）と学友会との懇談会が6月24日に行われた。

2021年度に開催される公開での全学協議会へ向けて、2020年度においては全学協議会代表者会議を開催することが2019年度全学協議会で確認されている。2020年度は、全学協議会代表者会議へ向けて、学友会と大学で懇談会などを重ねながら継続的に協議し、論点を整理していくことが予定されている。

本懇談会は、その継続的な議論の一つであり、新型コロナウイルス禍におけるWEB授業の受講実態等を踏まえ、「現状で学生が感じている教学関連の課題や問題意識」について、学友会と教学部が認識のすり合わせを行い、課題の整理を行うために開催された。懇談の内容は以下の通り。

記

●学生対象WEB授業に関するアンケート結果について

2020年5月19日～6月3日に学生向けに実施したアンケート（学生対象WEB授業に関するアンケート）の集計結果について以下の説明が行われた。

⇒【大学（教学部）】

アンケート結果の詳細な分析は現在進行中である。学部生の回答数は約12,500人であり、WEB授業についての満足度合いを6段階で分析した結果、回答平均値は3.5でやや肯定的な評価が高かった。「ほとんどそう思わない」と回答したものが1,244人、「全くそう思わない」と回答したものが1,257人いた。その他、様々な項目があったが分析途中のため、端的な数値の共有のみ行う。

⇒【学友会】

学友会は、数値共有のみでは見る事ができない、新入生の受講状況や学生生活の不安について、大学（教学部）の認識を教えて欲しい。

⇒【大学（教学部）】

WEB授業への上回生の適応と、大学での学びを始めたばかりの新入生との受け止め方は相当違うということは認識している。その他、アンケート結果に関する個別具体的な内容については、詳細な分析結果が出た後に、改めて懇談会等で説明を行う。

●WEB授業に対する要望

⇒【学友会】

WEB授業で最低限実施して欲しい事項に以下の通り説明した。

5月7日の学友会・大学諸部署との懇談会で、大学（教学部）から一定説明があったように講義が目指しているのはシラバスで設定された到達目標を達成することであると認識している。しかしながら、立命館大学学友会中央常任委員会（以下、常任委員会）では、受講している学生に課題を提示するのみで学生へのフィードバックが行われていない（小テストの採点はなされるが、フィードバックや課題に関する解説等を行われない等）講義が多く見受けられる状況であると認識している。そのため、学友会としては、課題を提示するのみでシラバスに記載された到達目標を達成出来るのかという疑問をぶつけ、大学（教学部）として、授業内で学生にフィードバックを行うよう共通のルールを定めて教員に指示すべきではないのかと指摘した。

⇒【大学（教学部）】

教学委員会において全学的なWEB授業の方針を既に決定し、全学で先生方に方針に沿った授業運営をお願いしている。一方で、大学（教学部）が各学部の授業について、直接指示を出しているわけではない。

大学（教学部）が、全学に授業運営について共通をお願いしていることは、3回目以降の講義に関しては何らかの課題を出し、それについて個別的あるいは全体的なフィードバックを必ず行うことである。フィードバックを行ってない講義があるという指摘は教学部として受け止める。しかしながら、WEB授業に限らず、これまでも、授業アンケート等から授業運営に課題があることがわかった授業については、当該授業の担当教員と学部執行部で授業運営について話し合ってもらっている。具体的な授業がわかったほうが改善につなげやすい。従って、学生個人による学部の事務室へ問い合わせや、学部自治会から学部の問題の共有を行ってもらうなど、学部執行部が改善の手立てをとれるよう、具体的な情報を学部を提供して欲しい。

●WEB授業のメリット・デメリットについて

⇒【学友会】

WEB授業のメリットはいつでも授業を視聴できることなどがあげられるが、現状の講義形態ではデメリットが大きい点として、授業終わりに教員に直接質問等をしにくいことや入手できていないレジュメの提供を教員に頼みにくいといった、特に教員と学生間のコミュニケーションが十分でないといった点が挙げられる。

⇒【大学（教学部）】

WEB授業におけるメリット・デメリットは現在検証中である。アンケートが実施されたのは第3～5回目の授業の時点であり、指摘された問題点のなかには、回数を重ねるにつれて改善されるものがあるだろう。教員と学生のコミュニケーションについては、教学部としても教学委員会等を通じて工夫や改善を呼びかける。

●レジュメの公開期限について

⇒【学友会】

講義におけるレジュメの取り扱いに関して、新型コロナウイルス禍によって紙媒体での配布ではなくなったことにより保管が難しくなっているため、春semesterは常時レジュメの開示を行って欲しい。また、レジュメとして配布された一部PDFのデータにアクセス制限がかかっていることで、印刷が出来ず講義における学びに支障をきたしているため、アクセス制限を解除して欲しい。

⇒【大学（教学部）】

レジュメの配布期間については、授業担当教員に学生が所定の期間に学修するために必要な配布期間を設定してもらうようお願いしている。また、PDFデータのアクセス制限については、資料によっては著作権の問題があるため、自由に印刷できない設定となっている可能性がある。

⇒【学友会】

学友会としては、最後の講義等で全てのレジュメを再度ダウンロードする機会を作りたいことを要望する。

⇒【大学（教学部）】

教学委員会等を通じて各学部の先生方へ改めてお願いする。

●Zoomの参加者制限に起因する受講者数の制限について

⇒【学友会】

5月7日に教養科目の講義に関して閉講措置が取られ、講義を受講できなくなった科目があるという情報が学友会に寄せられているが、大学（教学部）のどのように認識しているのか教えてほしい。

⇒【大学（教学部）】

受講者数が一定人数を超えた科目については受講登録が認められなくなることは学生に案内はしているが、閉講した科目はないと認識している。

●新型コロナウイルス禍を受けて、今年度の資格取得に影響が出ていることへの対応について

⇒【学友会】

受講を予定していた講義がなくなり、計画していた資格の取得に影響が出ている学生がいる可能性があることについて、大学（教学部）としてどのように対応していくのか教えてほしい。

⇒【大学（教学部）】

資格取得についての影響に関しては認識している。資格試験を執り行っている団体等からスケジュールの変更がアナウンスされている事例もあるため、そういった状況を見ながら大学として対応していく。

●実験・実習系科目の履修への対応について

⇒【大学（教学部）】

実験・実習系科目の履修への対応については以下の通り。

- ・実験・実習系科目の対面による授業の実施については、各学部で対面の回数、感染防止処置に注意しながら実施していこうとしている状況である。
- ・実験・実習系科目の対面による授業の実施スケジュールが、現時点で全面的に示されているわけではないが、スケジュール等告知がされ始めている授業もあると聞いている。
- ・教職などの実習については、内容が法律で定められているので、本学だけの判断は困難である。何らかの方法で本来のかたちに対応する授業が実施できるよう、対応を検討中である。学生への告知がいまだできていないことに関しては、実施の可能性を追求している結果であり、理解をしてほしい。対面の必要性がある授業以外は、春学期はWEB授業で行うとしている方針に変わりはない。

●夏期集中科目の実施等について

⇒【学友会】

夏季集中科目が予定通り開講されるのか、変更がある場合はいつ情報が公開されるのか。

⇒【大学（教学部）】

夏期集中科目については、開講が困難になったものを除いて、予定通り実施する。授業方法はWEB授業を原則とする。

●例年よりも提出課題が多く出されている状況について

⇒【学友会】

WEB授業が実施される中、例年よりも提出課題が増加したことで学生の負担になっていること、課題による過度な負担は学生の学びの阻害にもつながるため、大学（教学部）として、適切な課題の量について、どのように考えているのか教えてほしい。

⇒【大学（教学部）】

- ・課題が増えたことで学生に負担かかっているという声は聞いている。課題の適切な分量については、今後も学友会と意見交換をしていきたいと考えている。
- ・あきらかに課題の量が過大ということであれば是正していきたいが、その際も、どの程度の量が適当かについて、を学生の意見を参考にしていきたい。現在、各学部に、授業全体を見た上で各学生にどの程度の量の課題が提示されているのか把握してもらうよう依頼している。
- ・海外の大学では学生にレポート等の課題が多く出されている。こうした留学での経験を高く評価している学生もおり、従来と比較して課題の量が増加することが、必ずしもデメリットが大きいとは考えていない。しかし、明らかに多すぎる課題は学習にとってプラスにならないことは指摘の通りである。

⇒【学友会】

海外の留学先の大学での課題の出され方と現在の課題の出し方ではフィードバックの充実度が全く異なる。課題の増加を是とするのであればそれに見合ったフィードバックが行われるべきである。

⇒【大学（教学部）】

課題の分量、採点結果、解説の有無、補足説明等のフィードバックの有無に関して確認を行った上で、どの程度の学生への負荷が適切かの議論を継続して行いたい。

●レポート試験の締め切り考慮について

⇒【学友会】

課題を出すことがメインとなっている現状のWEB授業の講義形態に加えて、授業の成績評価対象の多くがレポート課題になっているため、講義を多く受講している学生が締め切りまでにレポートの提出が間に合わない恐れがある。

⇒【大学（教学部）】

レポート試験の締め切りの集中に関しては、学部独自の締め切りを設定するなど独自の対応を行っている学部もある。締め切りについては既に告知を行っているため、変更を行うことは難しいが、可能であれば、締め切りの変更を検討することを教学委員会の場で学部へ告知をしていきたい。

●定期試験から成績評価方法が変更されたことによる成績の評価基準への影響について

⇒【大学（教学部）】

定期試験が実施されないことで、成績の評価基準は当然変わるため、変更される成績の評価方法については、シラバスに記載してもらうよう先生方に要請している。もし評価基準がわからない場合は、学生から明確化するよう要望してほしい。

●秋semesterの講義形態に関して。

⇒【学友会】

新型コロナウイルス禍が続くと予想されるが秋学期の授業形態はWEB授業を継続していくのか。

⇒【大学（教学部）】

秋学期については教学委員会でどのように授業を行っていくのか議論を進めている状況であり、確定次第速やかに学生に案内するとともに、学生側が求める情報について懇談会等を通じて提供していきたい。（BCPレベルが2以下であれば、感染防止策を十分に講じたうえで秋学期から対面授業を部分的に再開する方針をすでに公表済み）

以上